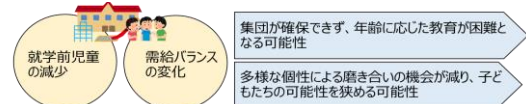


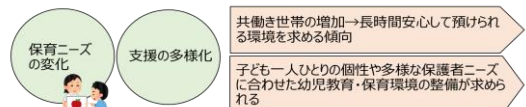
# ここで生まれてよかった、ここで育ててよかった推進プロジェクト ～幼稚園・保育所・認定こども園のあり方計画～（概要版）

計画期間：令和5年度～令和9年度（5年間）

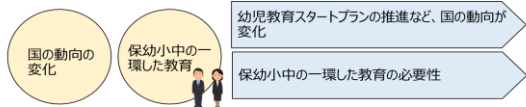
## 第1章 プロジェクトの必要性



子どもたちの可能性を狭めないよう、早期に教育環境を整える必要がある



保護者ニーズの変化と支援の多様化に応える必要がある



中学校までの見通しをもった幼児教育・保育を行う必要性

児童、保護者、幼稚園、保育所、認定こども園をめぐる環境が大きく変化

時勢に応じた新たな取り組みを進める必要がある

H24に策定した「あり方計画」を見直す

## 第2章 松江市の幼稚園・保育所・認定こども園をめぐる現状と課題

### ①子どもの数の減少

・出生数が減少したことに伴い、就学前児童数が減少

### ②待機児童と新たな課題

・待機児童問題は大幅に改善  
・少子化の影響で、適切な集団規模が確保されない可能性

### ③保育ニーズの変化

・保護者の就労状況等に関わらず、教育・保育を一体的に行う機能を持つ認定こども園の増加  
・保育ニーズの上昇に伴い、幼稚園が減少  
・令和3年6月に「医療的ケア児及びその家族に対する法律」が成立

### ④安心・安全な保育の充実

・築30年を超える幼児教育・保育施設が私立では16%、公立では43%と順次改築や修繕等が必要となる施設がかなりの数存在

## 第3章 本プロジェクトの目的、地域の捉え方、基本目標、目指す姿、松江市の幼児教育・保育で目指す子どもの姿

### プロジェクトの目的

全ての子どもが自らの力で心身ともに成長することのできる環境、誰もが希望する幼児教育・保育を受け、安心して子どもを生き育てることのできる環境を整備すること

### 地域の捉え方

就学前から義務教育期間の子どもの育ちを、中学校区を一つの区域として捉え、幼保小中一貫教育で保障する

### 基本目標

どの地域でも、誰もが希望する幼児教育・保育を受けることが出来、かつ、専門性を生かした支援や多様なニーズに対応した質の高い保育が、持続可能な方法で行われている

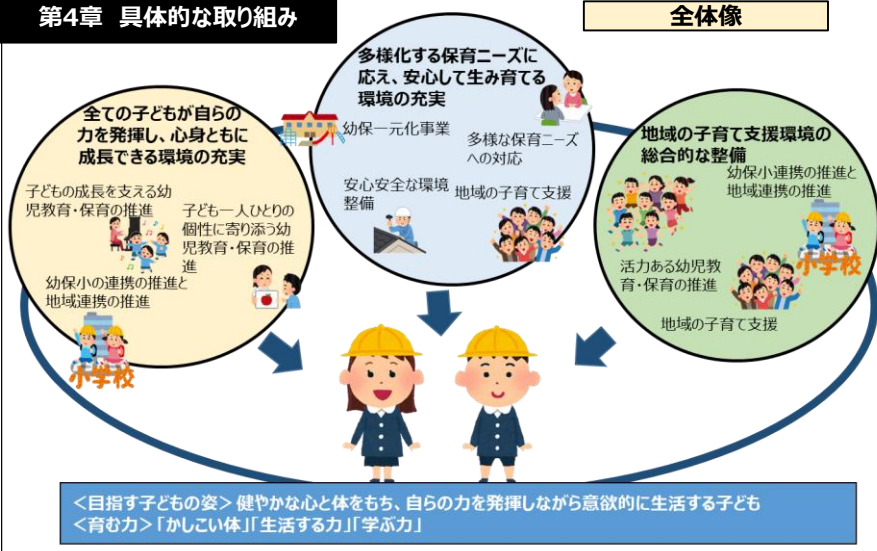
### 目指す子どもの姿と育む力

<目指す子どもの姿>  
健やかな心と体をもち、自らの力を発揮しながら意欲的に生活する子ども  
<育む力>  
「かしい体」「生活する力」「学ぶ力」

### 目指す保育者像

高い人権感覚をもち、かつ専門知識、技術を学ぼうとする意欲をもち、子ども一人一人の成長過程や個性を尊重しながら、主体的な姿を育む保育者

## 第4章 具体的な取り組み



### 施策（抜粋）

#### 1. 全ての子どもが自らの力を発揮し、心身ともに成長できる環境の充実

(仮称) 幼児教育ビジョンの策定	乳幼児期における特別支援教育の充実
本市の特徴を活かした幼児教育・保育	幼児教育・保育施設の複合化
医療的ケア児の支援充実	幼保小連携の推進、地域との連携の推進

#### 2. 多様化する保育ニーズに応え、安心して生き育てることができる環境の充実

幼稚園の認定こども園化	特別保育の充実
公立保育所の認定こども園化	指定管理者制度の導入や民間移譲の検討
公立幼稚園の機能の見直し	親子の関わりを学ぶ機会の充実
施設の老朽化対策	地域の子育て支援機能

#### 3. 地域の子育て支援環境の総合的な整備

保育所・幼稚園等における、適正な集団規模の場の確保	地域の子育て支援機能（再掲）
	幼保小連携の推進、地域との連携の推進（再掲）